

学校法人五島育英会 学校評価制度 2017年度 実施報告書

学校名	東京都市大学二子幼稚園
校（園）長名	細川 秀夫

分 野	教育設計
達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
① 教育課程の整備。 ・各活動分野のカリキュラムを作成する。 ・調理活動・造形活動カリキュラムの再検討と他の分野（運動・音楽）のカリキュラム作成の検討を進める。	達成状況 ・調理活動については学年ごとの活動内容を中心に作成したことで、段階を踏んで活動を進めることができた。 ・造形活動については学期ごとに振り返りをしたことで、偏りなく無理なく進めることができた。 ・音楽活動については月ごとの学年の歌を取りまとめたので、今後は楽器を使ったあそびについて、まとめていきたい。 未達事項 ・運動分野については検討を進めることができなかった。
② 多文化に触れ、他国への関心を高める。 ・教材を活用したあそび、ネイティブとの触れあい、仲良し会の工夫。	達成状況 ・教材の活用については、ボードゲームの柔軟な取扱いにより継続してあそびを楽しむ園児が増えた。 ・ネイティブによる「英語であそぼう」は年5回、継続的に実施することで、一段と英語に親しむ機会が持てた。 ・園児にかかわる国の紹介を活動に組み入れることにより、他国への興味関心を高めることができた。
③ 季節の野菜を育て、調理する。 ・野菜の栽培・収穫・調理の計画的な実施、調理活動の内容の充実。	達成状況 ・調理活動のカリキュラムを作成する際、野菜の栽培と合わせて、活動内容を検討したことで、 ・栽培から調理まで一貫性のある活動を計画的に実施することができた。 野菜以外の食材を使った調理活動を計画、実施することで、活動の幅が広がり、経験を豊かにすることができた。
④ 学校間連携を保育活動に定着させる。 ・教育アドバイザーによる講演や研修の実施、学生サポーターによる大学との連携強化。 ・等々力中高による科学体験教室、小学校ネイティブ教員による多文化活動の充実を図る。	達成状況 ・教育アドバイザーの井戸学部長による公開講座への保護者の参加や、教員を対象とした研修会の実施により、教育効果を高めることができた。 ・学生サポーターの安定的な参加が可能となり、行事の充実が図られた。等々力中高との連携による科学体験教室も継続的に実施することができた。 ・小学校ネイティブ教員による「英語であそぼう」については回数、内容とも充実させることができた。

分 野	預かり保育
達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
預かり保育を計画し、実施する。 ・保護者のニーズを捉え、子育て支援の一助とする。	達成状況 ・想定よりも希望者が多く、一定のニーズがあることが分かった。希望理由としては保護者の就労、学校行事、通院が多かった。 ・預かり保育実施日数は121日。延べ利用希望者数は1,547人。

	<p>一日平均 13 人。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し込み後のキャンセルが次第に多くなり、その対応についての煩雑さが課題となった。(キャンセル率 14%)
--	--

分野	募集活動について
達成目標と具体的取り組み(要約)	達成状況・未達事項・課題
定員を確保する。 志願者 1.5 倍を確保する。	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員及び志願者 1.5 倍はいずれも確保することができた。また、手続き後の辞退者がほとんどなく、繰り上げ合格をほとんどせずに定員を確保することができた。

分野	東急スポーツシステムとの連携
達成目標と具体的取り組み(要約)	達成状況・未達事項・課題
課外活動の実施や、グラウンド活動の充実を進める。 二子東急会加盟各社との連携を進める。	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年中・年少児を対象とした、運動あそびの課外教室を木曜に実施。予想を超える希望があり、急遽火曜にも追加実施をした。各曜日約 30 名の参加があった。 ・グラウンド活動を東急スポーツの指導者により学期ごとに実施。園児にも保護者にも好評で、運動あそびの充実を図ることができた。 ・東急不動産との環境にかかわるイベントの開催や、東急 BE・イツコム・東急セキュリティー等との情報共有により、連携が深まった。

校(園)長による総括
<p>全分野において副園長以下全職員あげて優れたパフォーマンスを発揮したと評価できる。幼保一元化のなかで保育園や保育園型子ども園が優勢な状況がある中で、幼稚園教育の本旨をまもって地域にアピールし、過去最高の説明会参加者を得たのは特筆に値する。</p>